

メトロでは、「地域接続線交通回廊の調査」のため、代替案分析（AA）の作業を始めました。この代替案分析では、メトロのブルー線、ゴールド線、ゴールド線のイーストサイド延長線およびエキスポ線間の直通サービスを提供し、これらの路線回廊を直接ユニオン駅に繋げるいくつかの案の分析を行います。これら既存の路線をより直接に接続することにより、地域全体における移動・アクセスをより容易にし、路線利用者を増やすことが目的です。

1日約 65,000 人の乗車客がいるメトロのブルー線は現在、ダウンタウン・ロサンゼルスにある 7th ストリート/メトロセンター駅を終着駅とします。この駅は、2010 年完成予定のメトロ・エキスポ線の将来の終着駅でもあります。現在、メトロ・ブルー線の乗客は、ディズニー・ホール、郡行政役所、郡裁判所、市役所などのダウンタウン目的地、そしてユニオン駅に行きつくには、メトロ・レッド線に乗り継がないと行けません。また、それから先、北または東方向の目的地に向かう乗客は、

さらにメトロ・ゴールド線に乗り換える必要があります。

メトロの長期交通計画では、既に 1992 年よりダウンタウン・ロサンゼルスにおける地域交通接続線の必要性が唱えら

ていました。2003 年のメトロ短期交通計画では、ダウンタウン・ロサンゼルス横切り、メトロのゴールド線、ブルー線、エキスポ線を接続するなんらかの配置の実現可能性を探求することが求められました。その後、2004 年に完了した実現可能性調査では、これら主要なライトレールの路線

を接続することによって、全ての路線の利用度が大幅に増加し、地域全体における移動しやすさが増すことが判明しました。

調査のプロセス

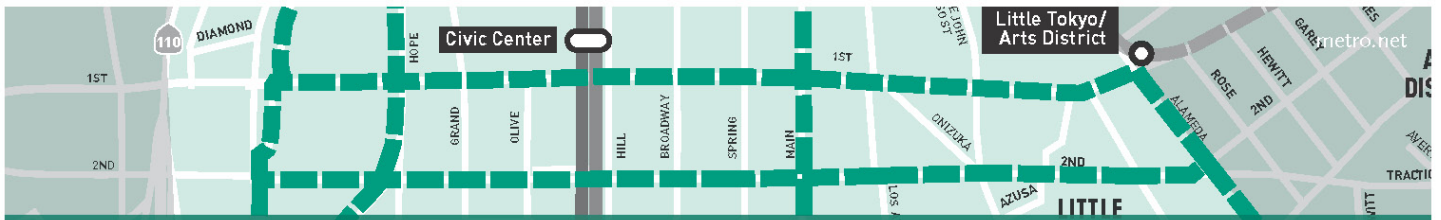
メトロによる代替案分析の調査は、プロジェクト開発プロセスの第一段階となります。その目的は、様々な交通形態や路線配置、駅の所在地を評価することにあります。メトロはまた、地下や、路面、架空の構成や、それら代替案の組み合わせの可能性を調査します。代替案分析の完成後、さらに環境審理を行ってプロジェクトを進めるかどうか、メトロ理事会で決定します。

調査地域

調査対象地域はダウンタウン・ロサンゼルス約 2 平方マイルを包含し、リトル東京、アート地区、ヒストリック・コア、トーイ地区、バンカー・ヒル、ファイナンシャル地区、ジュエリー地区、シビック・センターの各コミュニティを含みます。範囲は、ダウンタウン・ロサンゼルス 7th ストリートとウィルシ

ー・ブルバードにあるメトロ・ブルー線の終点から、1st ストリートとアラメダ・ストリートにあるメトロ・ゴールド線のイーストサイド延長駅周辺にかけて及ぶものとなります。

詳しくはメトロのウェブサイト www.metro.net/regionalconnector をご覧になるか、プロジェクト情報ライン 213-922-7277 へお電話をどうぞ。スペイン語と日本語の情報もあります。



Regional Connector Transit Corridor Study

ファクトシート (1) 調査の背景

